

2. 火山の概況

(平成 16 年 9 月 9 日 ~ 平成 16 年 9 月 15 日)

浅間山では小規模な噴火が連続的に発生している(期間外の記述を含む)。火山活動度レベル(以下レベルと記載)は3。

三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。

阿蘇山では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。レベルは2。

霧島山の御鉢の噴気活動はやや活発な状態が続いている。



図1 記事を掲載した火山

表1 最近1か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		三宅島	福徳岡ノ場	霧島山	薩摩硫黄島
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号				
38	9/9- 9/15														
37	9/2- 9/8														
36	8/26- 9/1														
35	8/19- 8/25														
34	8/12- 8/18														

注1 記号の意味
 : 噴火した火山
 : 活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に变化があった火山
 : 前期間まで や で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
 : その他記事を掲載した火山
等の丸付き数字: 火山活動度レベル

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

浅間山 [噴火・噴石・降灰] レベル3 (山頂火口で小~中噴火が発生する可能性がある) <期間外の記述を含む>

小規模な噴火が14日から発生し始め、15日には回数が増加し、16日04時頃(期間外)から連続的に発生している。

14日03時28分頃ごく小規模な噴火が観測された(噴火が観測されたのは9月1日の中爆発以来)。有色噴煙が火口縁上約300mまで上がり、東に流れ、群馬県高崎市(火口の東約45km)で微量の降灰が確認された。また、同日15時36分頃には小噴火が発生、灰白色の噴煙が火口縁上約2,500mまで上がり、東に流れ、群馬県安中市(火口の東約33km)や松井田町(火口の東約25km)で降灰が確認された(図2)。

15日には小噴火が頻発するようになり、1日で40回の噴火が観測された。噴火には体に感じられない程度の空振や火山性地震、火山性微動を伴うものがあった。噴火に伴う噴煙の高さの最高は火口縁上約1,500mで、軽井沢測候所(火口の南約8km)で降灰が断続的に観測された。

16日04時頃(期間外)からは、小噴火が連続的に発生するようになり、軽井沢測候所では断続的に爆発音が観測され、灰白色の噴煙が最高で火口縁上約1,500mまで上がるのが観測された。また、陸上自衛隊が同日15時に上空から観測したところによると、火口から火口縁周辺に噴石が飛散するのが見られ、同日18時40分ごろからは赤熱した噴石が火口縁周辺に飛散するのが見られた(図3)。南~南東方向に拡

がる噴煙が気象衛星で確認され、降灰は東京都や埼玉県など関東地方南部の広範囲で確認された。

伊豆大島 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなかった。

三宅島 [噴煙・火山ガス・地震]

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、期間中の高さの最高は火口縁上 1,000mであった。

14日に警視庁の協力により実施した上空からの観測では、二酸化硫黄の放出量は日量 3,300~5,300 トンで依然多い状態であった。

振幅の小さいやや低周波の地震は、1日あたり 7~17回と少ない状態であった。

阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動] レベル2（やや活発な火山活動）

中岳第一火口では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。

9日及び 15日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰白色、湯量は約 7割¹⁾、表面温度の最高は 68（前期間は 71）で、火口壁の最高温度は 161 と依然高温状態にあった（前期間は 187）。湯だまりの中央部及び西側で高さ 1~3mの土砂噴出が発生していた。

噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上 200m(前期間 200m)であった。

期間中、火山性連続微動が継続した。孤立型微動の発生回数は今期間 319回であった（前期間は 430回）。地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

1) 9日の現地観測で、台風第 18号の降雨により約 3割から約 7割に増加しているのを観測した（週間地震火山概況第 37号参照）。

雲仙岳 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

霧島山 [噴気]

御鉢火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。14日に時々噴気が監視カメラで観測され、その最高は火口縁上 100mであった。

桜島 レベル2（比較的静穏な噴火活動）

期間中、噴火は発生しなかった（前期間もなし）。噴煙活動も低調で、鹿児島地方気象台（南岳の西南西約 11km）で降灰は観測されなかった（前期間もなし）。



図2 浅間山 14日 15時 36分頃に発生した小噴火（火口の南約 8km から撮影）



図3 浅間山 16日 22時 09分頃の噴火の状況（火口の北西約 7.3km 設置の高感度カメラによる）

（国土交通省関東地方整備局利根川水系砂防工事事務所提供）

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第17号	9日 16:00	8日15時～9日15時の活動状況(小康状態続く)。
	火山観測情報第18号	9日 17:35	浅間山の火山活動に関する火山噴火予知連絡会拡大幹事会見解。
	火山観測情報第19号	10日 17:00	9日15時～10日15時の活動状況(10日00時前後に地震一時増加)。
	火山観測情報第20号	13日 16:00	10日～13日15時の活動状況(噴煙活動やや活発、地震・微動は少ない状態)。
	火山観測情報第21号	14日 10:20	未明にごく小規模の噴火発生、群馬県高崎市で微量の降灰の通報あり。
	臨時火山情報第2号	14日 15:43	15時36分頃噴火。灰色の噴煙が火口縁上約1,000mまで上がり東に流れる。
	火山観測情報第22号	14日 16:10	15時36分頃発生した噴火について(噴煙の高さ2,500mまで上がる。噴煙の噴出は15時43分まで続く)。
	火山観測情報第23号	14日 20:20	15時36分頃発生した噴火について(降灰は火口から東南東に分布し群馬県安中市まで及ぶ)。噴火後の状況。13日の火山ガス観測結果。
	火山観測情報第24号	15日 08:30	未明にごく小規模な噴火が2回発生。噴煙及び降灰の状況。
	火山観測情報第25号	15日 12:20	小規模な噴火が3回発生。噴煙の高さ火口縁上1,500m。
三宅島	火山観測情報第503号 (1日2回発表)	9日 09:30	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
	火山観測情報第516号	15日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第45号	9日 13:00	火山活動は引き続きやや活発(湯だまりの高温状態継続、湯量が台風による降雨のため約7割に増加、小規模な土砂噴出が発生、微動連続状態)。レベルは2。